

華人経済 経営研究

～彼れを知らず己れを知らざれば戦う毎に必ず殆うし～

中国本土からアジア地域、そして世界にまで活動範囲を拡大するチャイニーズ。彼らのビジネスに対する考え方や習慣は日本人からすると異質にして独特で、理解しづらいものだといわれている。チャイニーズを総合的に「華人」ととらえ、彼らの多様な伝統文化と長い歴史から導き出された経営思想、心理と行動を体系的に分析し、華人圏や中国への進出に伴う総合的なノウハウを学び合う関西日本香港協会のみなさんの研究の成果を紹介する。

中国企業の技術導入・

市場拡大における兵法

イアール」に変更した。

そして、習得した技術による製品を低価格を武器に勢いに乗じて、技術導入先のドイツ市場に焦点を当て、逆輸出を開始、遂に市場を席巻、技術導入先の市場を奪った。これを「順手牽羊」の計、隙あれば、勢いに乗じて相手を攻撃し勝利を得る計である。

ハイアールの兵法

「抛磚引玉」の計、つまらないものを見せてより優れたものを引き出す計により、1984年ドイツ人技術者を自社工場に招き劣悪な状況を見せることによつて彼らの技術的優位性・優越感をくすり、同情心に訴え、技術供与に踏み切らせた。

ドイツLiebher社は、同社が抱えていた冷蔵庫生産製造ラインの売却と技術の提供、更にブランド・Cindaeliebert（琴島・利勃海爾）の使用を認めた。技術を習得するとその実績を基に、契約を延長せず、1992年には自社ブランド・Haier（海爾・ハ

劉家四兄弟の兵法

タイ最大の華人財閥（C.P.（チャロン・ポカパン）グループ・謝家は汕頭出身の潮州系である。中国進出は、改革開放後間もなく1979年に始まった。今日外資系企業最大の正大集団を形成し、農業分野と食料分野を中核事業として中国本土に展開している。

主力は米国から導入した

資本と技術による飼料・ブギ、1998年に四川新希望農業股份有限公司としてロイラー事業である。中国への直接投資でなく、1988年香港に投資会社CP. PokrandCo.Ltd (HKSE0043)を設立し、間接投資している。中国全土に78の飼料工場を持つ。一方、四川省成都の農民劉家四兄弟は、1982年に私営企業として養鶏事業を始め、1988年希望飼料公司是養豚飼料の生産を開始、折からの需要の急増90年代の国営企業改革の波に乗れず、経営難に陥った中小の飼料工場を糾合し、1997年には、生産額50億元年産250万トン、国内シェア7割に達した。その後、多角化した事業を四兄弟で分割、劉永好氏が、1997年新希望集団を設立、飼料事業を引き継

流失して行くのである。



【馬場正修（ばばまさのぶ）さん】関西日本香港協会理事、同協会華人経済・経営研究部主任研究員。1972年関西学院大学経済学部卒。三井物産出身。繊維貿易畑を歩み、台北・山東省青島勤務など中華圏に8年在勤。2003年4月より5年間ジェトロ大阪本部貿易・投資アドバイザーを務める。2007年4月（株）貿易人を設立。現在、ジェトロ神戸・高知・金沢ほか、香川県貿易発展局等の貿易・投資アドバイザー。大阪商工会議所委員会、中国経済・経営学会委員。関西和僑会事務局長。

【日本香港協会全国連合会】
<http://www.jhks.gr.jp/>
【関西和僑会】<http://kansai-wakyo.com/>

営業秘密管理にも「グワンシ」管理の手法を導入せよ！

日本企業は、大手中小企業を問わずこの計にすこぶる弱い。特に、親分肌の技術屋さんは、劣悪な技術レベルを見せつけられると浪花節的に反応し、会社に属する技術を自分のものと思

「秘密性」を有すれば法的に「秘密性」を有する。その要件は①非公知性、②経済性、③実用性、④秘密保持措置の四点である（同法第10条）。秘密保持措置は、上述の秘密管理性に当たる。また、よしんば自社工場を見せるときは、徹底した防衛態勢を敷くのみならず、事前に「秘密保持契約（Non-Disclosure Agreement）の締結が

知財の財産、中でも特許や実用新案、意匠権の様に公開された知財権として法的に防衛できない「ノウハウ」・営業秘密については、「秘密性」を有すれば法的に保護される。その要件は三つである。
(1)秘密管理性、秘密として管理されていること
(2)有用性、事業活動に有用な技術上または営業上の情報であること
(3)非公知性、公然と知られ